



福井県 永平寺町

議会だより

第54号

平成31年4月19日発行



かんばん団体

上志比Jr.ダンスクラブ

(※ 最終ページに紹介記事)



2 ~ 3 自由なご意見、お聞かせください

議会と語り合

4月23日(火) 24日(水) 25日(木)

11 ~ 19 **そこが聞きたい!** 議員13人が一般質問

20 ~ 21 **視察レポート**

議会タブレット導入状況・地域包括ケアシステム・在宅医療

永平寺町議会
facebook



永平寺町議会

検索



議会と語り会



ご都合のよい会場にお越しください

永平寺町議会

開催地区は下記のとおりです。

4/23 火曜日 午後7:00~	1班 松岡公民館（講義室・視聴覚室）	松岡神明2
	2班 摂取寺	松岡芝原2
	3班 吉野集落生活改善センター	松岡吉野
4/24 水曜日 午後7:00~	1班 領家集落センター	松岡領家
	2班 けやき台地区公民館	けやき台
	3班 高橋生活改善センター	高橋
4/25 木曜日 午後7:00~	1班 吉波生活改善センター	吉波
	2班 藤巻生活改善センター	藤巻・市荒川
	3班 牧福島集落生活改善センター	牧福島

4月23日(火)・24日(水)・25日(木)

いずれも午後7時00分~

テーマⅠ 地域公共交通機関の利便性向上について

◆地域をとりまく、人と物の移動課題の解決…通学・通院・買い物難民の移動手段確保は？
 ◆えち鉄・コミュニティバス・路線バスは町民の日常生活に使いやすい足になっているか？

H27年4月の「議会と語り会」で「考えよう！町のコミュニティバス」として取り上げ、生活に密着したご意見を頂き、上志比・永平寺地区からの大学病院への直行バスや、えち鉄松岡駅経由で大学病院行き乗り継ぎのスムーズ化、所要時間短縮、学校や部活動の帰りに対応する便の追加など、H28年3月のダイヤ改正に生かされました。

テーマⅡ 町立在宅訪問診療所と地域が支えるまちづくり

◆永平寺町立在宅訪問診療所
 診療開始予定日：2019年8月1日(木)
 診療時間：外来診療 午前9時~正午（受付時間：午前8時30分~午前11時30分）
 訪問診療 午後2時~午後5時
 休日：日曜日・土曜日・祝日・年末年始

高齢者を支える地域包括ケアシステムの輪＝地域包括支援センター（保健師・主任ケアマネ・社会福祉士等による高齢者支援の相談や介護支援を行う）、訪問看護ステーション（訪問看護師）、介護保険事業所（各種施設）、居宅介護支援事業所（ケアマネージャーが介護保険ケアプランや在宅生活支援を行う）、訪問介護（ホームヘルパーによる生活支援）などの輪の中に町立在宅訪問診療所が加わります。

地域の元気な高齢者が地域課題の解決に自主的に参加して頂くことで、支え合い助け合う地域の永平寺町が実現します。

●地域包括ケアシステムとは
 高齢になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることが出来るように、医療、介護、福祉、生活支援・介護予防サービス（家事支援・配食・外出支援・安否確認・見守りネットワーク・サロン等）が連携して、必要とするサービスを切れ目なく受けることができる地域づくりのこと。

担当議員

私たちがお伺いします。

1班					
	中村 勤太郎	滝波 登喜男	伊藤 博夫	酒井 和美	酒井 秀和
2班					
	松川 正樹	上田 誠	金元 直栄	長岡 千恵子	朝井 征一郎
3班					
	齋藤 則男	川崎 直文	奥野 正司	江守 勲	

その思い、私たちに届けてください。

平成30年度3月補正予算審議報告

平成30年度
一般会計3月補正予算 **△2,808**万円

【主な項目】

空家等解体および撤去事業補助金

100万円
(補助追加2件)

プレミアム付商品券事業(事務費)

123万円
(消費税10%対策)

住まいる定住応援事業

301万円

保育園運営諸経費

253万円

レンゲ米学校給食推進事業負担金

△153万円
(レンゲ米の市場出荷増のため)

水田農業構造改革補助金

△746万円
(台風多雨等により減収)

急傾斜地崩壊対策工事

△2,529万円
(次年度施行へ)

3月補正予算主な質疑応答

◆総務課

問 会計年度任用職員制度は3年勤務すれば正採用とされないのか。
答 あくまで4月～3月の1年契約。正職員は正規の採用試験を経て採用。平成32年度からの会計年度任用職員制度導入に当りその例規整備を行うもの。
問 空家等解体及び撤去事業補助金、30年度は申請件数何件か、区長からの申請はないのか、補助額の見直し予定は。
答 29年度調査312件、うち廃屋32件。30年度で空家3件140万円補助。今回追加2件100万円を予算化。地元区長の要請もあるが、あくまで空家所有者(管理者)が申請するよう指導。補助額は費用の1/3、上限50万で見直し予定はない。

◆財政課

問 剰余金は財政調整基金に積立てるより、景気が向上かない状況では地域経済対策に使用すべきでは。
答 経済対策実施は実施したうえで、地方財政法第7条に基づき計上したものの。

◆総合政策課

問 プレミアム付商品券事業は、低所得者・子育て世代対策の設計になっているのか、町独自の上乗せはあるのか。
答 プレミアム付商品券事業は住民税非課税世帯と6月1日基準日で3歳未満の子どもの居る子育て家庭が対象。500円額面商品券を400円

で、10枚1組5セット2万円(額面2万5千円)まで購入可。対象者全員分の枠がある。国の施策で町の上乗せはない。

◆福祉保健課

問 年度内完成が困難となった事による町立診療所整備事業繰越明許費の内訳は。
答 役務費3万円、委託料79万円、工事請負費1億357万円、備品購入費3019万円。

◆農林課

問 レンゲ米の作付、収穫はいくらだったか。なせ一等レンゲ米の確保量が少ないのか。
答 作付630アール、収穫580俵。永平寺町れんげ米ブランドが浸透し市場への出荷が増えたため、集荷予定150表の16%しか集荷が見込めず、給食米を一般コシヒカリに切替えた。給食負担金は価格差により153万円減。

◆建設課

問 社会資本整備総合交付金事業4899万円、一般道路改良事業315万円、町営住宅改修事業162万円の繰越明許費内訳は。
答 永平寺インター線測量設計業務委託料1000万円、大月藤巻線歩道整備工事3899万円。一般道路改良事業は浄法寺橋北詰待避所設置にかかる業務委託213万円と中島地区町道拡幅工事に伴う地積更生に102万円、町営住宅改修事業は諏訪間団地屋根瓦改修工事分。

平成31年 第1回定例会報告

議長 江守 勲

平成31年第1回永平寺町議会定例会は、2月25日(月)から3月19日(火)まで23日間開催されました。慎重に審議を行い、承認・可決・同意した内容は次の通りです。
なお、永平寺町副町長には、永平寺町松岡越坂2丁目 山口 真氏を、永平寺町教育会委員には、永平寺町原 朝日 高範氏を任命同意しました。

第1回定例会議案(3月7日)

議案第1号 平成30年度一般会計補正予算について	可決	議案第19号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第2号 平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算について	可決	議案第20号 特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第3号 平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算について	可決	議案第21号 町立在宅訪問診療所の設置及び管理に関する条例の制定について	可決
議案第4号 平成30年度介護保険特別会計補正予算について	可決	議案第22号 町立在宅訪問診療所使用料及び手数料条例の制定について	可決
議案第5号 平成30年度下水道事業特別会計補正予算について	可決	議案第23号 特定用途制限地域の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第14号 行政組織条例の制定について	可決	議案第24号 町河川公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第15号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	議案第25号 町公民館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第16号 行政財産の目的外使用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	議案第26号 福井市および永平寺町における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について	可決
議案第17号 防災行政無線設備の設置及び管理に関する条例の制定について	可決	議案第27号 指定管理者の指定について	可決
議案第18号 町税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	議案第28号 教育委員会委員の任命同意について	同意
		発委第1号 町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決

第1回定例会議案(3月19日)

議案第6号 平成31年度一般会計予算について	可決	議案第11号 平成31年度下水道事業特別会計予算について	可決
議案第7号 平成31年度国民健康保険事業特別会計予算について	可決	議案第12号 平成31年度農業集落排水事業特別会計予算について	可決
議案第8号 平成31年度後期高齢者医療特別会計予算について	可決	議案第13号 平成31年度上水道事業会計予算について	可決
議案第9号 平成31年度介護保険特別会計予算について	可決	議案第29号 副町長の選任同意について	同意
議案第10号 平成31年度町立在宅訪問診療所特別会計予算について	可決	請願第1号 全国知事会の「米軍基地負担に関する請願提言」の実行を求める意見書提出に関する請願	委員会付託

議案への賛否一覧

議席順に掲載(賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席)※議長(江守勲)は採決に加わりません

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	奥野	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
議案第6号	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第7号	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第9号	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第19号	賛	□	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第26号	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛
議案第29号	賛	賛	賛	□	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等26件については全員賛成です。



新任 副町長 山口 真氏 (松岡越坂) 60歳

このたび、町議会の選任同意を賜り、はからずも副町長を拝命いたしました。河合町長の目指す町政の推進、施策の実現のため、町長を補佐しながら職員と力を合わせて、職責を全うしていく覚悟でございます。町民の皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年度当初予算審議報告

平成31年度当初予算総額

136億6,126万円 ▲4.6% (前年6月補正比)

議案第6号「平成31年度永平寺町一般会計予算」から議案第13号「同上水道事業会計予算」の8件について、慎重に審議を行い原案通り可決した。

一般会計 84億6,526万円 ▲8.0% 特別会計 47億5,110万円 2.3% 企業会計 4億9,089万円 ▲5.9%

【主な項目】

緑の村四季の森文化館設備躯体改修 4,910万円 (県費2,455万円 地方債1,800万円)

IoT推進「永平寺町IoT推進ラボ」講演会・セミナー 369万円

上志比支所建て替え(解体分) 6,780万円 (取壊し後新築 地方債6,100万円)

観光まちなみ魅力アップ事業(本年宿泊施設完成により事業完了) 1,233万円

社会資本整備総合交付金事業(永平寺インター線補償調査算定・用地買収他) 1億3,400万円

町立在宅訪問診療所管理運営費 7,446万円 (訪問診療所特別会計 内診療報酬4,789万円)

平成31年度当初予算主な質疑応答

◆総合政策課
問 IoT推進事業の具体的な実用化は。

答 町内企業がかかえる課題を、IoTを使って解決していただくことと、行政においては、防災防犯の取り組みにIoTを活用すること。

問 住まいる定住応援事業による効果検証は。

答 利用した方にアンケートした結果、30才代の方が大半で「実家に近い」「永平寺町が気に入った」という理由で住まわれた。制度を知ったのはホームページ、業者、役場窓口だった。

問 自動走行推進の実用化は。

答 31年度は、できるだけ実用化に近い形での実証実験を進めて、実用化に近づけたい。

問 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」検証委員会の施策効果検証の結果は。

答 4つの目標、40の施策について検証した結果、目標達成が14、未達成が26で、未達成の原因と今後についても検討する。

◆住民生活課
問 気候療法講演会及び体験事業を高く評価する。PRはどうするのか。

答 里山の清浄な空気、安らぎや癒しを確認し、検討する。平成30年11月に町内3集落が、鳥獣害対策の集落内の取り組み、防柵柵の設置・管理について勝山市、大野市で先進地視察を行っている。今後も住民の方の研修を行う。

問 幾つのはっぱ寿司の企業グループが交流しているか、課題は。グループの存続は。
答 5つのグループが年一回の講習で交流している。後継者不足の課題がある。統合の話もでている。

◆建設課
問 景観形成推進事業の景観ワークショップ運営委託の委託先と内容は。

答 委託先は都市計画および地方計画部門に登録のある建設コンサルタント。内容は、参加者が参る1、2、国道364号を自動走行車両、バスに乗り志比南地区の景観についての意見を出し取りまとめる。

問 永平寺インター線整備の必要性は。

答 永平寺インター線は、中部縦貫自動車道の永平寺インターに接続する国道364号から永平寺口駅を經由し国道416号を結ぶ道路。永平寺地区の中心市街地からの中部縦貫自動車道へのアクセス、えちぜん鉄道、京福バス等の公共交通との結節が向上することにより、土地利用が促進され周辺地域の発

効果をもつ森林環境の中で運動や休憩することで、ストレスの軽減・病気の予防・健康増進が期待できる。「気候療法」の認知度を講演会等で高めたい。

◆子育て支援課
問 松岡放課後児童クラブの移転先、工事内容、時期はいつになるのか。

答 移転先は、松岡小学校大規模改修工事完了後の校内となる。工事内容は体育館の玄関に遠隔操作のオートロックとインターホンの設置、学校施設と児童クラブ施設をカーテンドア等で区切ること。時期は、大規模改修工事と同時進行で実施するが、児童クラブの移転は10月予定とする。

◆福祉保健課
問 今後の敬老会のあり方は、全て町主導でなく高齢者自身が自主的に運営する時期にきているのではないか。

答 毎年事業内容やお土産などに住民提案も頂き改善を図っている。県内他市では自治体規模が大きく会場や対象者数の都合もあり、公民館や自治会単位での開催もある。確かに地域属性を生かせ、自分たちの望みややり方が可能となる面もあるが、運営を担う人材の確保は困難と思われる。主体的に運営を担って頂ける環境が整うまでは、

高齢者同士の年1回の催しを楽しみたいという人も多く町主催で開催したい。
問 介護施設等整備事業の認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設の各1施設拡充の需要背景・整備の方向・予定地域は。

答 H27年度に地域密着型施設・小規模多機能型居宅介護施設、各1施設を公募整備し、現在約100名程の利用がある。高齢化の進行、要介護認定の増加、介護の重度化傾向から、その後も施設問合せがあるなど、今後も地域密着型施設への需要が続くと判断した。今月開催の介護保険運営協議会に、認知症高齢者グループホーム・小規模多機能型居宅介護施設各1施設の整備と予定地域の協議を図り、協議結果が可であれば、今月中にも公募、選定に入りたい。

問 (介護保険特別会計) 総合相談事業に於ける地域のネットワーク構築とは。

答 社会福祉協議会の地域包括支援センターへの委託となるが、福祉保健課も協働して取り組んでいる事業で、高齢者の総合相談窓口として、高齢者が望む生活を継続できるようにする支援活動。その方に必要な保険・医療・福祉サービスにつなぐため、介護サービス事業者・医療機関・高齢者支援ボラ

ンティア・地域における様々な関係者と連携・情報共有して機関又は制度の利用に繋げる支援を目的とする。このような連携を顔の見える関係で多くの職種間で構築していくことがネットワークづくりになる。

問 (介護保険特別会計) 包括的支援事業の支え合いの地域づくりは重要な取り組み。本年度はどのような取り組みをしていくのか。

答 要介護状態となっても、住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らせるよう総合相談や在宅医療、介護連携事業の切れ目のないサービス提供を図っていく。支え合いの地域づくりの一環として、小学校区毎に支え合いの町づくりフォーラムの座談会を志比北・上志比では既に毎月開催している。他地区に於いても順次座談会を開催したい。

提言 地域の人がどのような仕組みの中で地域づくりを支えるのかを示して取り組んで欲しい。

◆農林課
問 有害鳥獣対策として担い手不足の対策が必要。免許取得補助以外、先進地視察、町民への意識啓発等の事業は。

答 大野市では、平成30年に地域おこし協力隊員2名が有害鳥獣対策に就任している。受け入れ体制を

展に寄与する。また、消防本部から国道364号へのアクセスが向上し、救急搬送、火災・災害対応が強化される。

◆商工観光課

問 観光物産協会運営補助金981万円の明細は。

答 観光物産協会は町が設立し、委託して事業を行っている機関でもあり、協会の運営経費補助として職員4名の人件費を補助。今後徐々に事業収益を確保して自立を促していきたい。

問 えい坊館の来館者数目標は3万6千人、現在の利用者数、利用の分類形態は。

答 H29年度来館者数は31,774人。今年度は2月現在30,398人。2階多目的ホール・ルームの利用は623回、7,750人。地域のサロン事業で利用されている。その他22,000人余りはカフェや物販、デジタルAIの利用者。売上は前年度比50%以上増加。SHOJINブランドも近い将来観光物産協会が担う事を予定。

問 観光まちなみ魅力アップ事業の有効性・効果はどのような数値・方法で検証しているのか。

答 H30年約50万人から目標値65万人に15万人増加し、平均滞在時間が10分伸びれば1億7千万円の経

済効果と試算。宿泊設備柏樹關のオープンで宿泊消費と雇用を見込む。

問 H31年7月、大本山永平寺、福井県、永平寺町が取組んできた「永平寺門前再構築プロジェクト」が宿泊施設の完成を以って事業完了する。宿泊施設の内容は。

答 一般の宿泊施設。禅コンシェルジュが常駐し、宿泊客の禅に関する知識習得や永平寺での朝課への参加や坐禅、法話等を体験できる環境のサポートを実施。レストランではランチも提供予定。7月26日開業予定。またこの機会にシンポジウムを開催し、禅文化と最先端技術が共存する町であることを広く内外に発信する。

問 周遊・滞在型観光推進事業期間と評価は。

答 福井市永平寺町エリアの評価値は一乗谷朝倉氏遺跡観光客数・永平寺参拝客数・福井市永平寺町主要宿泊施設宿泊客数とし、2022年本山参拝客数目標85万人。大野市・勝山市・永平寺町エリアの評価数値は2022年3市町合計観光入込客数53.4万人、宿泊客数29万7千人とし、計画最終は2022年度。

◆学校教育課
問 小中学校適正配置検討事業で適正配置の協議を始めると言うが、

動走行実証後の実用化⑥支え合うまちづくり（共生社会）の方向性⑦国保会計繰出し金等で住民生活第一になつていないこれらの点で反対の立場を表明する。

賛成討論

滝波登喜男

31年度は町立在宅訪問診療所を中心に、町民の福祉向上に必要な施策があり、賛成である。審議の中で、禅文化のシンポジウムや永平寺インター線整備事業、四季の森文化館の改修事業は、費用対効果など十分な説明を求めているので、留意するよう。

賛成討論

川崎 直文

この時期の国保税の引き上げは認められない。国保税の負担だけで所得の10数%の負担となる。さらに、医療費の引き下げへ、保健事業の徹底強化が見られない。等の理由で反対する。

賛成討論

齋藤 則男

本町の健康保険事業は、これまで加入者の利便性を図り常に健全に運営されていたが、今回、保険税の増額する予算案が提出されたことは、加入者にとってはとても厳しいことである。町として、全力で取り組んでいる努力は認めるが、その成果が見えて

住民合意のない進め方があってはならない。進め方はどうするのか。検討委員会メンバーはどう選定するのか。

答 目的は児童生徒にとって望ましい学校配置の方向性を示す事。三つの考え方を基本にする。①行政主導ではなく広く町民の意見を集約する。児童生徒・教職員の意見も大切に②学校の果たす役割を明確にする③地域と共にある学校づくりの3視点。広く町民の意見を集約するため、方法や検討委員会の委員については、今後検証し検討する。

問 今の三つの考え方で安心だが、微妙な問題もある。実際にどう進めるのか。

答 児童生徒にとって望ましい学校配置の方向性を示すという方針で、広く意見を集め集約する。2000年頃から子ども人口が減り始め、いろんな角度でどうなっているのか検証する時期が来ている。統廃合するのか残すのかだけでなく、残すために何をすべきか、地域との連携をどうするか、そうしたことも含めて広く意見を聴いていく。様々な角度の主観の入っていない情報を議題に載せて共有し、将来に繋げていくためにどうしたらいいのか、関係する住民の皆様や議会と議論していく。

◆生涯学習課

問 四季の森文化館（維持管理費1,000万）・大規模改修工事4,910万の目的とねらい、今後の方向性を問う。

答 法定点検で以前から指摘のあった建物内外の改修、非常用照明器具等防災関係設備改修と空調システムの老朽化更新を行う。今後とも人を受け入れるために必要な改修。県の補助金（1/2補助）が見込めるためこれを利用して改修する。改修完了は年度内を見込んでおり、使用停止期間は適切な時期にお知らせする。

問 四季の森文化館改修は公共施設再編計画に沿ったものか。それでもやらなければならない投資か。将来的活用案の方向性は出ているのか。有るものをプッシュするプロジェクトアウトでは市場ニーズの読み間違いもある。

答 公共施設再編計画では当初から用途変更を視野に入れたが、活用案は無かった。今IoT推進事業でサテライトオフィス案も出ており、まちづくり株式会社ニーズ調査をしている。改修して次の段階へ引き渡す。活用の方向性目的の地は充分検討する。

◆IoT(アイオーティー) Internet of Thingsの略。「モノのインターネット」と訳される。家電やセンサー類に通信機能を持たせることで、遠隔の操作や制御を可能とする技術。

ゆる横出し事業を介護保険給付に含めることで、介護保険の出費は増えることになる。町からの財政支援で負担の軽減をすべきだ。

賛成討論

長岡千恵子

介護保険特別会計には基金を積んでいる。介護保険は保険が始まって年数が少ないので、現在の高齢者は保険料負担が始まると同時に介護保険受給者となった。保険料負担のみをしている若者のために、介護保険事業の維持が必要。介護保険事業を将来に繋げるに必要な予算と考える賛成とする。

賛成討論

長岡千恵子

国民健康特別会計を維持するには、保険税の改正が必要。高齢化と高度医療受診のため医療費給付が増加している。国民健康保険事業とまじめに保険税を納付している人を守るために保険税の改定は必要と考える。

賛成討論

長岡千恵子

国民健康特別会計を維持するには、保険税の改正が必要。高齢化と高度医療受診のため医療費給付が増加している。国民健康保険事業とまじめに保険税を納付している人を守るために保険税の改定は必要と考える。

議案への賛否討論

議案第6号 一般会計予算について

反対討論

金元 直栄

町民にとって必要な施策もあるが、①これまでの行政運営の中で、大人の都合で作られた施設の無駄が先送りされている②ラッキョーの撤退騒動への対応③自衛官募集への協力事務④町の人口増対策から小規模宅地造成が町の事業から抜け落ち、民間任せ⑤子育て・教育では、幼・保育園の適正規模と配慮配置から、さらに学校の統廃合に一步踏み込む。等の理由で本予算案には反対する。

賛成討論

齋藤 則男

この予算に賛成する立場から理事者に対し、この予算の審議において、議員各位からの指摘事項、および意見等については重く受け止めて、適切に執行されることを望む。予算の議決権は議会であり、それを執行するのは職員の皆さんである。直接住民の生活を左右し、その福祉のいかに決するものとして、速やかに成立することを望み賛成討論とする。

反対討論

上田 誠

町民生活の予算であり、教育・インフラ整備で特に町立診療所等の評価すべき点が多い。しかし、①温泉の指定管理料とリニューアル費②禅シンポジウムの費用対効果③四季の森改修後の方向性④IoT推進（事業）とまちづくり会社等の連携⑤自

議案第7号 国民健康保険事業特別会計予算について

賛成討論

滝波登喜男

31年度は町立在宅訪問診療所を中心に、町民の福祉向上に必要な施策があり、賛成である。審議の中で、禅文化のシンポジウムや永平寺インター線整備事業、四季の森文化館の改修事業は、費用対効果など十分な説明を求めているので、留意するよう。

賛成討論

川崎 直文

この時期の国保税の引き上げは認められない。国保税の負担だけで所得の10数%の負担となる。さらに、医療費の引き下げへ、保健事業の徹底強化が見られない。等の理由で反対する。

賛成討論

齋藤 則男

本町の健康保険事業は、これまで加入者の利便性を図り常に健全に運営されていたが、今回、保険税の増額する予算案が提出されたことは、加入者にとってはとても厳しいことである。町として、全力で取り組んでいる努力は認めるが、その成果が見えて

こない。手法が悪いのか手順が誤りなのか、今一度原点に立ち返り考えてみてはどうか。理事者の取り組みを期待し賛成討論とする。

反対討論

上田 誠

少子高齢化に伴い、加入者層の変化や高齢化により、年金受給者には大変重い生活費の負担となつている。行政の健康づくり、ジェネリック薬の普及等の施策に評価はしている。しかし、今回の国保税改点もやむなしであるが、以前にも対応したように、一般会計からの特別繰出し処置で少しでも軽減を図る会計とすべきであり反対の立場を表明する。

賛成討論

川崎 直文

予算総額は対前年度比27%の増額。被保険者の高齢化、医療の高度化で療養給付費と高額療養費が増加し、一方で、対象者が減少している退職者分は減額している。実態に即した予算編成である。歳入は、国民健康保険税および公費負担金が確保されており、健全な国民健康保険事業を図る予算となっている。本議案に賛成する。

賛成討論

齋藤 則男

要支援への介護サービスは、町の総合事業で行うことになったが、本来町の福祉事業で行うべき要介護認定以外の人達へのサービスや、いわ

3月定例会 一般質問

問&答

そこが聞きたい!

13名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一般質問：目次

長岡千恵子 … 11P	奥野 正司 … 16P
酒井 秀和 … 12P	伊藤 博夫 … 16P
松川 正樹 … 12P	川崎 直文 … 17P
朝井征一郎 … 13P	上田 誠 … 18P
中村勘太郎 … 14P	金元 直栄 … 18P
齋藤 則男 … 14P	滝波登喜男 … 19P
酒井 和美 … 15P	

議案への賛否討論

議案第26号
福井市および永平寺町における連携中核都市圏の形成に係る連携協約の締結について

反対討論 金元 直栄
この連携をバラ色に描くが国の狙いは財政支援の重点化だ。今後財政的に周辺自治体の自由度が阻害されることもあり得る。また、各自自治体の関係が個々であり、事務組合のように議会もない。さらに、事務を福井市が単独で行うとなると問題だ。よって反対する。

賛成討論 滝波登喜男
近隣市町と連携協力していくことは、今後益々必要となってくる。毎年成果等報告を必ずしていただきたい。

反対討論 長岡千恵子
連携中核都市圏形成は不安材料が多い。小さい町は小さい町として独自性を考えるべき。大きい町に圧倒されることになるのではないか。今は、頑張る力をつけ本町らしさを保つことが大切。慎重に考えるべきと思うので反対する。

賛成討論 酒井 和美
本町予算規模では実施不能な行政サービスは福井市に補ってもらっている現実を踏まえ積極的に連携協力し、町民の立場を担保するべき。

常任委員会報告

観光ボランティアガイドおよびラッキー商店街等の存続・撤退について現状報告

総務産業建設常任委員会

委員長 中村勘太郎

本委員会は3月13日に開催し、次の内容を慎重に審議した。

①観光ボランティアガイドについて行政の取り組みは

【主な意見】

大本山永平寺は雲水が修行の一環として案内を勤めていたが、修行僧の減少もあり平成29年に本山に打診し、研修を受けたボランティアガイドに



本山前でのガイド風景

行政の方針は、本年31年中に試行できるよう踏み込み、平成32年中に運営できるよう努力する。

（委員の主な意見）

雲水等が講師として対応することや門前街商店方との関わり、ボランティアガイドの募集は町内外から募集することや、服装は作務衣等にて本山らしさの対応を考える等。

②ラッキー、商店街等の存続・撤退にかかわる商工会や行政を交えた協議の場の創設は

【主な意見】

先日組合および商工会と会合したが、両者の当面の課題として組合員の財産を守ることや商品販売企業があればなどと考

（委員の主な意見）

当常任委員会の意見を全議員と協議し、特別委員会等の創設を求める等。

町立診療所等現状報告

教育民生常任委員会

委員長 上田 誠

3月13日委員全員参加にて開催し、所管内容を協議した。

①永平寺町のまちづくりと住民生活の現状、課題と今後の展開の中の住民の夢をサポートとは。

住み良くする活動をしている20団体を支援する。

②町立在宅訪問診療所と保健活動との連携とは。

初年は診療体制の確立。運営協議会の設置もする。

③いじめ、不登校の現状と対応は。

いじめは疑わしい時に、虐待はチームで、不登校は複数の教員が家庭訪問して対応する。

④成人のひきこもりの現状と対応は。

人数の把握はできていない。若者と高齢者では原因が異なる。

⑤障害者就労支援事業所開設の現状は。

スマイルメーカーA型。平成30年10月1日開設。4人雇用。配食サービス。

アグリの家B型。平成31年1月1日開設。農作業、食品加工販売。

⑥やすらぎの郷の改修状況と今後は。

4棟に分郷。社協事務所は登記して譲渡。CAMU湯と老人センターは取り壊し。デイサービスと児童館はそのまま。

問 バロー撤退、買い物難民対応は

答 持続可能な運航サービスの実証実験



長岡千恵子議員

問 町の中心部にあるスーパーマーケットが撤退。この状況に危機感。 **商工観光課長** 町としても困惑。周辺住民、特に高齢者にとって大変不便になる。移住促進を進めるうえでも条件的に不利になり、危機感を感じている。

問 買い物に困難な人への対応は。 **商工観光課長** 移動販売の依頼、農協、商工会など関係機関と協議を検討、まずはスーパーのような店舗の出店を依頼中。

問 5月にはラッキー内のほかのお店も閉店と聞く。買い物優先の **答** 持続可能な運航サービスの実証実験 **問** 町の中心部にあるスーパーマーケットが撤退。この状況に危機感。 **商工観光課長** 町としても困惑。周辺住民、特に高齢者にとって大変不便になる。移住促進を進めるうえでも条件的に不利になり、危機感を感じている。



松岡放課後児童クラブが移転する小学校校舎

【その他の質問】 **問** 小学生の名札の廃止とは。 **答** 登下校中の不審者からの声掛けを防止するため制服の名札の着用を廃止する。 **問** エボリウシヨ ン大使の状況は。 **答** 桃田氏は中央省庁や大手企業とのパイプ役。あみる氏は禅INTの立ち上げ。歴史、文化、自然など町の魅力を世界に発信。

問 自主的な防災・減災の進めを

答 地域での役割分担の意識が重要



中村 勤太郎 議員

問 自主防災組織の班員の機能的な役割について、行政はどのように望んでいるか、また、これまでの訓練指導は十分理解されているのか。

総務課長 自分達の地域は自分たちで守るという役割分担の意識が大変重要だ。また、自主防災連絡協議会を主体に、地域の広域的災害対応を地域住民の理解と協力のもと共助的な協力体制が機能することを期待する。

問 自主防災組織の平常時の



活動に対する活性化を目的に、地震による家具固定の推進拡大を、減災に備える楽しさを家庭に植付けるよう推進できないか。

総務課長 地域での自主防災連絡協議会や防災士の会と地域の皆さんが一体となって必要性とか周知等の運動をして頂けることは本当にありがたい取り組み。今後、地域住民と一緒に取った取り組みをすることで自主防災組織の活性化につながる重要な事だ。

問 本年度の予算において大きな目的は

答 続けてきたことを更に進めていく



齋藤 則男 議員

問 総合的に見た新年度の予算について、わかりやすい表現での編成方針を。

町長 第2次永平寺町総合振興計画や、まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえた施策を推進しつつ、持続可能な町をつくるのが一番の大きな課題。

◆子どもたちへの子育て支援

問 子育て支援の町と言いながら、子どもたちのための支援策が欠けているのではないか。親



松岡公園整備事業完成式典

子とともに一緒に楽しむ施設や遊具の設備が少ない。

町内には多くの公共施設がある。その中で、親子で一日もしくは半日、お弁当を持ってゆつくりと楽しく過ごせる施設があるか。今年完成する松岡公園はどうか。

建設課長 松岡公園は都市公園の中でも自然の風景などの趣や味わいを楽しむするための風致公園として位置づけられている。

風致公園に遊具の設置

問 時代に合った禅の観光戦略を

答 色々なやり方で関心を持って頂く



酒井 和美 議員

問 エボリユーシヨン大使あみるさんと接し、禅はアメリカと日本で大きく違うことを知った。アメリカの禅はIT業界で活用され、日本でも人気。またヒッピー文化とも結びつき、自然や自給自足的農業を禅的であるという。本町の黙想や田園風景はまさに強みと認識し、森林浴や瞑想を組み合わせるリト

町長 自主防災組織だけでなく地域のサロンや福祉関係の皆さん方々を、地域包括ケアの一環と、防災コラボ事業として考えたい。

総務課長 自主防災組織委員の構成を各連絡協議会と情報を共有す

町内自主防災組織

町長 自主防災組織だ構成の届出を計画的に提出して頂き、各地区の自主防災組織の活性化を図っては。

総務課長 自主防災組織委員の構成を各連絡協議会と情報を共有す

町内自主防災組織

町長 自主防災組織だ構成の届出を計画的に提出して頂き、各地区の自主防災組織の活性化を図っては。

総務課長 自主防災組織委員の構成を各連絡協議会と情報を共有す

町内自主防災組織

町長 自主防災組織だ構成の届出を計画的に提出して頂き、各地区の自主防災組織の活性化を図っては。

リート型滞在観光を提

は、交付金事業の対象外。今回の再整備の計画に入っていない。

◆地域の発展は経済対策から

町長 根本的に経済を主において、いろいろな政策に結びつけている。何を求めて、何をしたいかというのを大事にした

隊で募集し低価格帯の宿泊施設を運営してもらう。

町長 自主防災組織だ構成の届出を計画的に提出して頂き、各地区の自主防災組織の活性化を図っては。

町長 自主防災組織だ構成の届出を計画的に提出して頂き、各地区の自主防災組織の活性化を図っては。



浄法寺山青少年旅行村

関係機関の紹介など、積極的にコーディネートしたい。セミナーも希望者を募る有効手段。

町長 自主防災組織だ構成の届出を計画的に提出して頂き、各地区の自主防災組織の活性化を図っては。

問 第2期公共施設再編計画の策定は

答 次年度(2019年度)に策定する



川崎 直文 議員

問 第2期公共施設再編計画の対象施設は、財政課長 第1期計画の55施設のうち、取り壊し(おたっしや夢サロン等)譲渡(永平寺いきがい創作館等)用途変更(元の消防本部)した14施設を除く41施設を引き続き対象とする。

第1期計画以降に建設等で増加した7施設(新消防庁舎等)や再

編対象として望ましい5施設(デイサービスセンター等)計12施設を追加する。計53施設が対象。

問 施設再編、適正配置が検討される小中学校、幼稚園、幼児園は対象となるのか。

財政課長 小中学校、幼児園・幼稚園、消防団施設、上下水道施設は、施設の所管において再編検討を現在行っ

第2期計画の対象となる新消防庁舎



第1期公共施設再編計画で元消防本部は現東庁舎へ用途変更(写真右側)



将来は……

ているか、今後行う予定で、公共施設再編計画には含めない。別個にそれぞれ計画を取りまとめる。

問 公共施設再編計画の総括、第2期の計画はいつごろ策定か。

財政課長 現計画の総括を3月時点で取りまとめる。第2期公共施設再編計画は来年度末までに取りまとめる。

【その他の質問】

問 幼稚園・幼児園、学校施設の長寿命化、保全・再生計画の見直しは。

答 現在の計画で長寿命化を進める。今後、施設の方向性が出た段階で必要であれば見直す。

問 指定管理制度の活用への取り組みは。

答 生涯学習課所管の5施設で第2期公共施設再編計画により取り組む。

率75%に対し、えち鉄17%。町はえち鉄株主として乗客目線の提言を。

総務課長 利用者目線課題は今後えち鉄と検討、協議する。

【その他の質問】

問 ふるさと納税、収支とコスト結果は。

答 町外流出額+コストは赤字、返礼品やサイト充実し黒字化へ。

問 地域未来投資促進法に於ける重点促進区域の動向は。

答 志比北・「永の里」用地造成中、北インテナー周辺…物流企業の開発行為協議中、福大・県大周辺…地域経済牽引事業計画承認1社。

利用案内看板設置。既存駐車場では同じ場所に同じ車が常時駐車している場合がある。対応は。

総務課長 新駐車場の利用広報を既存駐車場にも掲示すべく、また、駅前場への常時駐車による電車利用者の利用不便はえち鉄と連携対応する。

問 福鉄に遅れるトイレ整備：志比塚、光明寺駅はトイレ無し、観音町、轟、野中、竹原駅は和式トイレ。福鉄の多目的トイレ設置

問 アテンダント精神を忘れないで

答 利用者目線課題はえち鉄と協議推進



奥野 正司 議員

問 志比塚駅急階段解消策、その後は。

総務課長 緩い階段新設、簡易リフト、南側ホーム新設案等協議検討中。

問 福岡駅バリアフリー化協議、その後は。

総務課長 スロープ整備に伴う用地確保等事業費用も考え協議継続中。

問 福鉄は既存ホーム幅内に半分スロープ、半分階段を作り込む事で全駅対応済。本件は以前からの課題、早急な方針決定を。観音町駅の慢性駐車場不足は地元町民の協力で駅西側に軽自4台分を新設。既存駐車場側にも

利用案内看板設置。既存駐車場では同じ場所に同じ車が常時駐車している場合がある。対応は。

総務課長 新駐車場の利用広報を既存駐車場にも掲示すべく、また、駅前場への常時駐車による電車利用者の利用不便はえち鉄と連携対応する。

問 福鉄に遅れるトイレ整備：志比塚、光明寺駅はトイレ無し、観音町、轟、野中、竹原駅は和式トイレ。福鉄の多目的トイレ設置

県下17市町のふるさと納税取組状況

市町	2017(1427)年度		2018(1428)年度		2017(1429)年度		2018(1430)年度	
	ふるさと納税収入金額	件数	ふるさと納税収入金額	件数	ふるさと納税収入金額	件数	ふるさと納税収入金額	件数
福井県	66,353	767	84,730	73,655	73,655	73,655	73,655	73,655
福井市	13,479	160	46,335	59,604	59,604	59,604	59,604	59,604
あわら市	49,954	1,450	49,824	43,469	43,469	43,469	43,469	43,469
福井県計	3,963	64	5,236	482,714	482,714	482,714	482,714	482,714
大野市	18,084	420	32,387	20,021	20,021	20,021	20,021	20,021
福山市	13,732	162	24,346	30,599	30,599	30,599	30,599	30,599
鯖江市	76,772	894	94,734	199,288	199,288	199,288	199,288	199,288
越前市	16,236	207	56,766	106,914	106,914	106,914	106,914	106,914
野々市	32,889	29	2,427	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094
小浜市	150,189	9,953	390,699	25,477	277,850	277,850	277,850	277,850
永平寺町	3,278	100	11,668	440	6,072	10,897	388	5,991
越前町	13,149	38	76,742	49,593	49,593	49,593	49,593	49,593
赤田町	9,963	29	2,608	460	460	460	460	460
南越前町	2,277	38	73,238	35,637	35,637	35,637	35,637	35,637
奥越前町	18,968	1,105	123,963	167,691	167,691	167,691	167,691	167,691
福井県計	314,213	3,843	39,416	62,731	62,731	62,731	62,731	62,731
志比北町	410	18	44,717	21,828	21,828	21,828	21,828	21,828
福浜町	39,095	1,277	20,975	14,333	14,333	14,333	14,333	14,333
合計	557,280	18,423	1,162,727	1,748,438	1,748,438	1,748,438	1,748,438	1,748,438

問 種子条例が廃止になった理由は

答 民間企業も自由に扱えること



伊藤 博夫 議員

問 「主要農作物種子法廃止法」が4月1日に廃止との国から都道府県に通達があったが、国民やマスコミに知らされていないので、農家にとって非常に問題で大変だと思うが、各県では、条例が優先とのことから種子条例化が進んでいる。種子法廃止になった理由は。

農林課長 この法律があることで民間企業の参入を妨げ、農作物の品種開発を阻害しているため民間も自由に扱える。

問 廃止になって、どんな影響があるのか。プラス面とマイナス面

置場所の選定は警察署との合意を要件として頂き、補助要綱を作成し、6月に行われる区長会に周知する予定。

◆防犯カメラの設置補助金のお問い合わせ先

問 近年防犯カメラの活用により解決した事件が多くあったことから、区の初寄り総会で了解がとれた。昨今、市町村や自治会レベルでの防犯カメラの設置・導入が目立ってきており、当町においても補助金制度を

は。農林課長 プラス面では民間企業の参入が容易になり、多種多様な品種の開発が可能になり安価な価格になることでコストの削減に繋がる。また、マイナス面では力のある外資系の企業が参入すると席巻して風土に合った種子が作れなくなることで懸念される。また種子の価格は開発費が上乗せされて少量品目は高くなると考えられる。

防犯カメラを設置したい！相談してください！

本年5月、新築中で小学生児童が誘拐され殺害される事件が発生しました。大切な子どもたちの家族の安全を守るため、防犯カメラを活用してみませんか？



上田 誠 議員

問 「健康・元気づくり」は「地域づくり」

答 地域で支え合う活動を重点に

問 少子高齢化が進む時、地域づくりもそこに住む住民の支え合う形態が問われている。支え合う生活支援体制を「我ごとまるごと」共成社会実現に向けた活動が必要。その底辺の活動としての健康・元気づくりをキーワードとした実践活動を。

町長 地域で支え合い、みんなが活躍できる地域のコミュニティに重点を置いて取り組む。
福祉保健課長 医療と介護の多職種連携、地域での生活支援Ⅱ支え合いに重点を置き介護予防、健康づくり活動を。



が重要と考えている。
問 在宅医療、訪問診療の拠点となる町立診療所の役割。新保健計画で住民の行動目標、みえる化が必要。
福祉保健課長 在宅医療拠点の診療所として、保健と介護予防による健康寿命の延伸が介護や医療費の節約に繋がりが自分得とするという町民の背中を押すような意識づけに努める。

◆教員の働き方改革・改善策を

問 教員の長時間勤務が社会問題となつている。先生と子どもとの時間確保が基本。改善策を。
学校教育課長 県は教員の退庁を小学19時、中学20時を目標としている。学校支援員、部

問 ラッキーの撤退と町の対策

答 地元以外の買い物が多くなった

問 町の中心部にスーパーを残すためには町の役割が大事だと警鐘を鳴らし続けてきた。他市では商工会と共に出店規制をしているところもある。眺めているだけでは安心して暮らせる町にはならない。都市計画による立地誘導も必要だ。

商工観光課長 撤退は福井市やドラッグストアで買うこと等が主な原因と聞く。組合とは何度となく相談に応じてきたが、民間の経営のことで、解決策は見えなかった。
問 思い切った方策として、施設を町で購入し、テナントにしては



松岡ショッピングセンター ラッキー

どうか。一步踏み込むべきだ。
商工観光課長 町の交流人口増が必要だ。ラッキーの件は、組合が自力で策を探している、町への申し入れはなかった。今後の展開は組合の意向もある。

◆高すぎる国保税・支援は必須

問 来年度、本町の国民健康保険税は大幅に引き上げられ、県下一、二位になると示された。国保税には他の健保にない均等割があるが、子どもへの均等割48000円はや

問 再編検討委員会の協議内容は

答 将来の子どもたちのため



滝波登喜男 議員

問 幼稚園幼稚園施設再編検討委員会での諮問と協議状況は。答申の取り扱い。
子育て支援課長 諮問は5項目。①就学前の教育保育のあり方②適正規模③適正配置④運営のあり方⑤地域の中でのあり方。将来望ましい環境について答申していただき、それを踏まえて来年度から取り組む。

◆学校適正配置は国の方針が
問 国は全国小中学校の8割が現在の規模に課題があるとし、20年度までに学校適正規模化について検討するよう示唆している。統合促進のための増改築費やスクールバス購入費の補助制度を準備した。本町も国の方針に沿って20年度までに検討するの。

財政課長 国の補助制度を活用するために早くやろうというのではない。合併後、公共施設再編で取り組んでこなかった反省も踏まえ、学校適正配置の大きな方向性を出そうというもの。
教育長 高水準の学校教育を維持できたのは、教員の熱心さとはとより、地域の教育力があるからだ。地域をないがしろにするような再編は全く考えていない。

活指導員の配置や、中学校の2学期制等の改善策を実施する。
教育長 先生と生徒のゆとりと向き合える時間の確保を第一にして対応する。

◆就学援助（準備費）の入学前支給を
問 この制度は子どもが学校に通うことを保障するもの。入学時の準備費は負担が大。全国的にも行っている入学前支給を。
町長 要綱の改正を行い次年度から入学前支給の実施に向け対応していく。

め、町が支援すべきだ。また、保健事業の強化策も必要。
住民生活課長 一世帯あたり17万6000円になる。平成23年以降の4年間、国保税の見

直しなが、大幅引き上げの要因となった。均等割も国の基準の中で算定している。医療費抑制についてはジェネリック医薬品の利用促進や、町民の健康づ

くりとして取り組んでいる。
【その他の質問】
問 本町も自衛官募集の協力はやめるべき。
答 町は広報で募集を行っている。

◆包括ケアシステムの課題は
問 待望の診療所は地域包括ケアシステムの重要な役割を担う。25年までのシステム確立に向けての課題は。
福祉保健課長 支え合いの町づくりに向けて

は、住民の理解と覚悟がまだまだと思う。現在、診療所の説明に地区を回っていて、54地区から依頼を受けている。また、最終的には高齢者の住まい確保や在宅看取りへの展開までが重要だと考える。



町立在宅訪問診療所完成予想図

議会タブレット導入・移行状況について

平成31年2月4日(月) 愛知県豊川市

豊川市H30年7月、市議会にタブレット端末導入。H31年4月までは試行期間とし紙資料配布も継続。

メリット：いつでもどこでも情報共有できる。災害時対応の迅速化、ペーパーレス化による紙代・コピー機使用料、電話回線通信費の削減。

検討事項：現行コストと改善メリットと導入コスト+端末リース料のコスト比較。

- ・行政事務は人員のスリム化・事務作業の効率化が求められている反面、医療・福祉・教育・商工業・農業・観光産業政策と事務事業量が増大し、新規事務事業も年々拡大する状況にある。
- ・議会事務においてもICT活用とペーパーレス化を検討し、資料の検索・作成・配布・分類・保存という一連の作業の効率化を進め、作業の生産性・堅確性を高める事で、議員・行政職員の負担を減らし、迅速な情報の共有化と対応を考慮すべき時期と考えた。
- ・議会ICT化を進める先進議会のタブレットやICTの導入・活用状況を視察し、本町議会の生産性向上と新規案件への対応力向上に活かすと共に、行政と連携し働き方改革を進めたい。



「健康自生地」をめぐり健康づくり生涯現役のまちづくり

平成31年2月5日(火) 愛知県高浜市

現在認定健康自生地は106カ所。町民の健康づくり・高齢者の介護予防に、室内に閉じこもりがちな高齢者を室外に連れ出す「健康自生地めぐり」を展開し介護予防・認知症予防に効果。

「健康自生地スタンプラリーポイントカード」：60才から応募可能。

活動の担い手は地域の元気な高齢者。行政の役割は情報発信。情報誌「毎日出かけるでいでー」発行。

市が推進する「生涯現役のまちづくり」は、地域に住む様々な高齢者が誰でも気軽に参加できる「健康自生地へ出かける」という介護予防活動を地域で展開することにより、住民同士の支え合いの体制＝支え合う地域力が構築されてきた。

地域の高齢者を家の中から外へ出て頂き、歩行+会話の機会を増やし、生涯現役へ繋げる支え合う地域力を高める取り組みは、昭和の時代を思い起こし示唆に満ちている。

地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表

放送期間 2019年4月26日(金)～5月5日(日)

時	4月26日(金)	4月27日(土)	4月28日(日)	4月29日(月)	4月30日(火)	時
10	2月25日 第1回本会議 (開会・町長招集あいさつ)	3月4日 一般質問② 酒井 秀和 議員 松川 正樹 議員	3月5日 一般質問① 齋藤 則男 議員 1時間00分 一般質問② 酒井 和英 議員 2時間08分	3月6日 一般質問① 上田 誠 議員	3月7日 本会議 3月補正予算審議① 1時間23分 3月補正予算審議② 1時間27分	10
11	1時間09分	2時間00分	2時間08分	1時間29分	1時間27分	11
12						12
5						5
21						21
22	3月4日 一般質問① 長岡千恵子 議員	3月4日 一般質問③ 朝井征一郎 議員 中村勘太郎 議員	3月5日 一般質問③ 奥野 正司 議員 1時間06分 一般質問④ 1時間19分 伊藤 博夫 議員・川崎 直文 議員	3月6日 一般質問② 金元 直栄 議員 1時間40分 一般質問③ 滝波登喜男 議員 58分	3月7日 本会議 3月補正予算審議③ 1時間05分 3月補正予算審議④ 2時間11分	22
23	1時間40分	1時間56分		58分		23
時	5月1日(水)	5月2日(木)	5月3日(金)	5月4日(土)	5月5日(日)	時
10	3月8日 本会議 当初予算第1審議	3月8日 本会議 当初予算第1審議	3月11日 本会議 当初予算第1審議	3月13日 本会議 当初予算第2審議 11分 3月14日 本会議 当初予算第2審議 1時間19分	3月14日 本会議 当初予算第2審議 1時間09分 3月15日 本会議 当初予算第2審議 2時間00分	10
11	2時間35分	1時間30分 1時間24分	50分 1時間45分	1時間19分	2時間00分	11
12						12
5						5
21						21
22	3月8日 本会議 当初予算第1審議	3月11日 本会議 当初予算第1審議	3月12日 本会議 当初予算第1審議	3月14日 本会議 当初予算第2審議	3月19日 本会議 当初予算審議・採決	22
23	1時間00分 2時間27分	3時間28分	2時間00分 1時間55分	1時間21分 1時間20分	58分	23

★ テレビ番組の構成上、番組表はあくまでも予定時間であり、開始時間の遅れが生じることがあります。詳細につきましては、リモコンの番組表でご確認ください。お手数をおかけして、誠に申し訳ございませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

自家用有償旅客運送の取り組みについて

平成31年1月28日(月)、29日(火) 横手市中央町 横手市役所、横手市増田町 狹半内地域センター

過疎化が進む中山間地の秋田県横手市増田町狹半内地区(豪雪地帯)で、民間会社による路線バスが廃止され、平成30年10月1日から地元の共助運営体のメンバーが運転するミニバス「自家用有償旅客運送」が運行されている。

経営主体は横手市、運営主体は狹半内地区の6つの集落の共助運営体。運行日は月曜、火曜、水曜、木曜で1日4往復。狹半内地区は地域内運行、地区外は路線運行。利用料金は200円～700円で、定員が7名の車両、1台を使用。

横手市の狹半内(ざるはんない)地区で運行されてるミニバス



永平寺町で「ドア・ツー・ドアのデマンドAI交通の取組」が提案されている。今回調査の情報を活用する。
(総務産業建設常任委員会 川崎 記)

地域包括支援センター、元気づくりシステムについて

1月23日(水) 三重県いなべ市

元気づくりの始まりは介護予防強化モデル事業(H24～)から生活支援サービス(家事援助・配食・ごみ捨て・買物支援など)+予防サービス(通所サービス+訪問型サービス)⇒地域社会で活躍する活動的な高齢者を担い手とする元気リーダー運動教室(市内84カ所)…いなべモデル「元気づくりシステム」。「元気づくり」は「地域づくり」として実践(90区/118区)。包括支援体制も「我がごと丸ごと」として実践(103区)一般介護予防は70歳以上の高齢者99%も現状把握



地域包括ケアシステム(包括支援センター)在宅医療

1月24日(木) 滋賀県東近江市

「支えあうまちづくり」と位置づけ共生社会に向け各々の特性に合わせた支援体制を実践。

○両市とも支えあうまちづくりを基本に地域包括支援、生活支援体制を実践している。今後の永平寺町の方向性も示している研修となった。

(教育民生常任委員会 委員長 上田 記)

傍聴にお越しく下さい

6月定例会

(予定)

生中継

5月27日(月)10時～

【本会議】

6月 3日(月)・4日(火)・5日(水)10時～

【一般質問】

6月 6日(木)・7日(金)・11日(火)10時～

【補正予算審議】

6月13日(木)10時～

【本会議・採決】

6月14日(金)

【予備日】

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
○会議は傍聴することができます。役場本庁西側の階段を上がって、3階議場傍聴席にお越しください。

★エレベーター完備

議会・各委員会の議員出欠状況

平成31年1月10日～3月19日

議員名(議席番号順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	松川 正樹	上田 誠	中村 勲太郎	金元 直栄	滝波 登喜男	齋藤 則男	奥野 正司	伊藤 博夫	長岡 千恵子	川崎 直文	酒井 和美	酒井 秀和	朝井 征一郎	江守 勲	
出席回数	31.5	30	30	27	32.5	27	33	27	33	32	28	30	28	27	
会議回数	34	32	30	29	36	29	33	27	33	34	31	31	29	27	
出席率	93%	94%	100%	93%	90%	93%	100%	100%	100%	94%	90%	97%	97%	100%	
No.	日付	会議名	○…出席 ×…欠席 —…員外 △…遅・早 研…研修 傍…傍聴 弔…弔事												
1	1/10	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	—	傍
2	1/11	議会広報特別委員会	○	—	—	—	×	—	○	—	○	○	○	—	傍
3	1/15	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	○	—	○
4	1/15	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	—	○	—
5	1/15	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○	—	傍	
6	1/22	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	1/22	議会改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
8	1/23 ~1/24	教育民生常任委員会視察	—	○	—	○	○	×	○	—	○	—	—	○	—
9	2/4 ~2/5	全員視察研修	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
10	2/7	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	—	傍
11	2/15	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	—	○	—
12	2/19	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	2/20	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	2/21	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	2/25	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	2/25	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	3/4	本会議(一般質問初日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	3/5	本会議(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	3/6	本会議(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	3/6	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	3/6	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○	×	—	傍
22	3/7	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	3/7	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○	○	—	傍
24	3/8	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	3/11	本会議	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	3/12	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	3/13	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	○	—	○	×	○	—	○
28	3/13	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
29	3/13	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	3/14	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	3/14	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	3/15	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	3/19	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	3/19	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	3/19	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	3/19	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	—	—	傍	

議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!



1/27 どんど焼き



2/9 永平寺町「表彰の日」式典



2/16 消防自動車入魂式



2/26 「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会 永平寺町実行委員会解散総会



3/12・15・20 小学校・中学校卒業式 幼稚園・幼稚園卒園式



3/23 松岡公園整備事業完成式典



4/1 松岡公民館耐震リニューアル完成内覧会

キラキラ笑顔で、 はつらつダンス! 上志比Jr.ダンスクラブ

水曜夜の上志比文化会館サンサンホール会議室では、今流行の軽やかなポップミュージックが流れ、子どもたちがアイドルの女の子たちさながらにアップテンポな動きでモダンダンスの練習を楽しんでいます。

「地域の子供たちにダンスの文化活動を体験してほしい」という乾倫子（いぬいのりこ）先生のお気持ちから「上志比Jr.ダンスクラブ」は設立されました。平成9年8月の活動開始から22年の歴史を持ちます。

◆活動内容は？

仁愛ダンス部指導者2名により、ストレッチとダンスの基礎を体験し、年に2～3作品のダンスを習得、そして舞台に出演します。乾先生は創作ダンスの振付師として、仁愛ダンス部の指導を行い、また昨年開催の福井しあわせ元気国体・大会開会式式典においては、演技シーンの振り付け・指導も担当されるなどの活躍をされています。

上志比Jr.ダンスクラブの子どもたちは毎年、仁愛ダンス部のダンスリサイタルに参加しています。仁愛女子短期大学ダンス部と仁愛女子高等学校ダンス部のお姉さんたちと一



緒に福井市文化会館の舞台上でミュージカル出演を経験します。今年は11月24日（日）の予定です。また越前時代行列やフェニックスまつりのステージにも出演していました。衣装をお母さんに作ってもらって出演することもあります。

◆今後の展望は？

現在会員は小学生女子からなる13名。年々、参加人数が少なくなっており、上志比にかぎらず、永平寺町内から、また町外からも参加者を募集しています。志比小学校区の子どもたちや町外（坂井市）の子どもたちも参加しています。

これからも、よりたくさんの子どもたちとダンス創作に取り組んでいきたいと乾先生は笑ってお話になりました。

（酒井和 記）



<がんばる団体募集中!!>

小中学生が活躍する団体募集中!
詳しくは議会事務局まで。TEL:61-3950

編集者のひと言

松岡公園の改修工事が完了して、初めての桜の季節を迎えた。小さな桜木が多い中、ひときは目立つ老桜が目をひいた。年を追うごとに変わる木々の成長が楽しみである。

新年度の予算も決定した。目玉は、町立在宅訪問診療所・禅シンポジウムの内容・永平寺志比北地区での地域住民を交えて進めるデマンドバスの実証実験と思われる。

平成に終止符を打ち、新元号の令和元年となる。時代に添った議会となるよう努めたい。

（長岡 記）

議会広報特別委員会委員
委員長 奥野正司
副委員長 松川正樹
委員 滝波登喜男・長岡千恵子
川崎直文・酒井和美
酒井秀和

発行責任者
議長 江守勲